

講義科目 : 社会科学演習	単位数 : 4
担当 : 川上 生馬	学習形態 : 必修科目
	* 第2学年で履修

講義の内容・方法および到達目標

本講義では受講生の関心のある民法にまつわる問題について、各自が報告を行い、その内容について他の受講生が質問を行うという形で講義を進めます。民法にまつわる問題は契約のトラブルや婚姻・離婚・相続など多岐にわたります。そこで、1年次までに学習してきた民法に関する知識を生かし、社会問題を民法の視点から考察することで、法的思考能力のブラッシュアップを目指したいと思います。

本講義での報告を通して、問題発見力やプレゼン能力などを養うとともに、報告レジュメや卒業論文を執筆することで文章力等も身に付けることを目標とします。

授業計画

第1回	前期ガイダンス テーマ選び	第16回	後期ガイダンス 執筆について
第2回	卒論テーマ決め①判例検索	第17回	卒業論文目次作成
第3回	卒論テーマ決め②論文検索	第18回	報告①はじめに
第4回	卒論テーマ発表	第19回	報告②判例
第5回	執筆計画の作成	第20回	報告③学説
第6回	報告レジュメ作成	第21回	卒論最終目標の発表
第7回	報告パワーポイント作成	第22回	卒論執筆と資料収集
第8回	第1回報告	第23回	報告④判例
第9回	第2回報告	第24回	報告⑤学説
第10回	第3回報告	第25回	報告⑥分析
第11回	卒論テーマの再設定	第26回	卒論チェック
第12回	中間報告書作成①概要作成	第27回	発表用レジュメ作成
第13回	中間報告書作成②執筆計画	第28回	卒論概要報告
第14回	中間報告①10分程度の報告	第29回	卒論最終チェック
第15回	中間報告②10分程度の報告	第30回	卒論発表会

教材・テキスト・参考文献等

附属図書館に所蔵されている判例集、法律雑誌等を利用するため、特定の教材の指定は行いません。

成績評価方法

報告内容40%、質問内容30%、卒業論文30%で成績評価を行います。

全授業回数数の3分の2以上の出席がない場合、成績評価の対象外とします。

その他

民法Ⅰ、民法Ⅱ、民法Ⅲ、家族法を履修していると卒論テーマを決める際に選択肢が広がりますので、これら科目を履修することを推奨します。

上記シラバスは受講生が8~9名であることを前提に作成されているため、受講生の人数によっては報告回数等に変更が生じる可能性があります。その場合、第1回前期ガイダンス時にアナウンスします。